

**YAMAHA**



**PROFESSIONAL SYSTEM EFFECTORS  
SYSTEM BOARD  
SB-200**

取扱説明書・保証書

# YAMAHA PROFESSIONAL SYSTEM EFFECTORS

ヤマハ・プロフェッショナル・システム・エフェクターは単体としての性能を高めるだけでなく、マッチング、操作性、可搬性など、複数のユニットを組み合わせて使用する際の問題点をすべて解決することを目標に開発されたシステム化エフェクターファミリーです。

システム化するためには、単体としての完璧な性能が要求され、不完全なユニットの存在を許すことはできません。ヤマハはエフェクターを多用する今日のミュージシャンのニーズに応えるために、特にこれらの点を重視して、このシステムエフェクターファミリーを開発いたしました。

## 目次

1. System Board SB-200 .....	2
2. 各部の機能 .....	3
3. PSE ファミリーの取り付け方法 .....	4
4. セッティング例 .....	5
5. エクステンションケーブルの使い方 .....	6
6. バッチング例 .....	7
7. ご注意 .....	9
8. 仕様 .....	9
9. アフターサービス .....	10

# SYSTEM BOARD SB-200

## システムボード

システムボードSB-200は、PSEファミリーのエフェクターをシングルサイズで11台まで装備することができ、ミュージシャンのニーズに応じたエフェクターシステムを自由に構成することができるプロ指向のシステムボードです。SB-200を使用することによって、わずらわしいセッティングが簡単で確実になり、セット後もパッチパネルで自由にセッティングを変更することができます。SB-200にセットされたエフェクターにはAC電源から電圧が供給されますので、常に安定した状態で使用することができます。またSB-200は、複数のエフェクターによってシステムを構成した場合でもクリアなエフェクト音を得るために、ノイズ対策が重視されています。SB-200

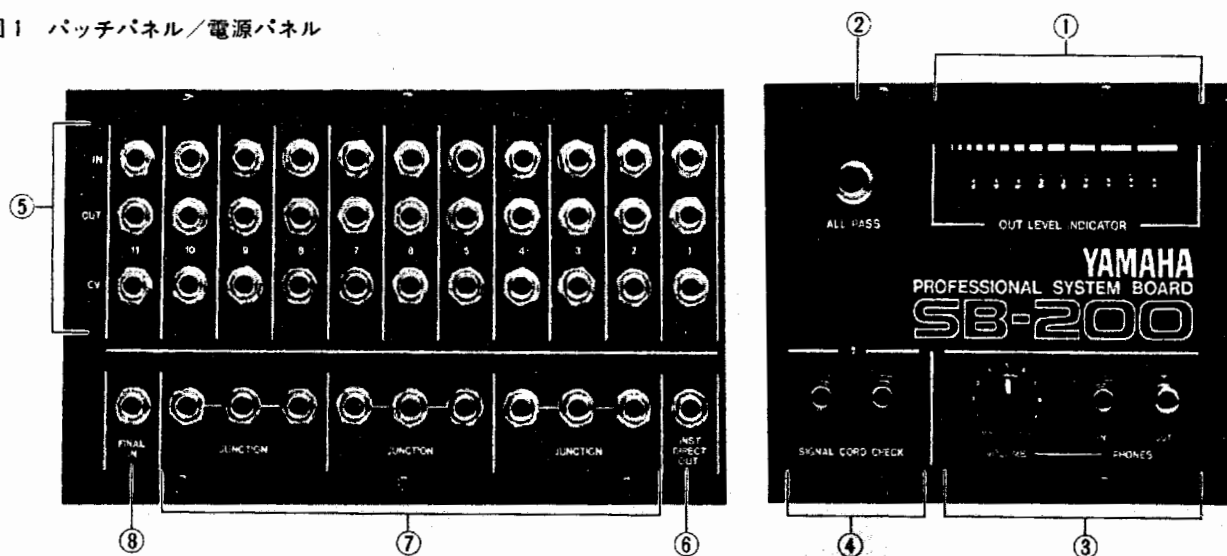
のケースは極めて頑丈に作られており、エフェクターをセットしたままでも安心して持ち運ぶことができます。さらに、付属のエクステンションケーブルによって、エフェクターシステムの接続順序を変えずにシステムボードにセットする位置を変更して、最も操作しやすい位置に各エフェクターを取付けることができます。SB-200は、このほかにも暗いステージで使用するためのパネルライトや見やすいアウトレベルインジケーター、出力をモニターするためのヘッドホーンセクション、また原音をそのまま出力させるためのオールパススイッチなど数々の機能を備え、操作性を徹底追究した画期的なシステムボードです。



# Functions

## 各部の機能

図1 バッチパネル/電源パネル



### 1. 電源パネル

- ① **OUT LEVEL INDICATOR (アウトレベルインジケータ)**  
SB-200の出力の音量をチェックするためのインジケータです。
- ② **ALL PASS SW (オールパススイッチ)**  
原音をそのまま出力させるためのフットスイッチです。演奏中、エフェクターシステムにトラブルが発生した場合など非常の際にお使いください。  
なお、オールパスの状態になっている間はアウトレベルインジケータが自動的に点滅します。  
また、システムを使用中、万一電源コードがはずれたりヒューズが切れた場合は、自動的にオールパスの状態になりますので、演奏中に音が消えてしまうようなことはありません。ただし、この場合アウトレベルインジケータは点滅しません。
- ③ **PHONES (ヘッドホンアンプ)**  
OUTジャックにステレオヘッドホンを接続しますと出力をモニターすることができます。  
INは外部入力ジャックです。ここに音声信号を入力した場合、その音をヘッドホンでもモニターすることができます。  
各エフェクターの点検などに使用してください。  
なお、INに何も接続しない場合は、エフェクターシステムの最終的な出力をモニターすることができます。
- ④ **SIGNAL CORD CHECK (シグナルコードチェック)**  
シグナルコードが断線やショートしているかどうかをチェックするためのジャックです。  
シグナルコードの両端のプラグをそれぞれジャックに差し込んでください。緑色のLED(発光ダイオード)が点灯すればOKです。点灯しない場合、そのコードは断線あるいはショートしていますので別のシグナルコードを使用してください。

### 2. バッチパネル

- ⑤ **IN, OUT, CV**  
バッチパネルでは、バッチコードを使ってエフェクターの接続を自由に変更することができます。  
1~11番までのIN, OUTの各ジャックは、それぞれの番号の位

- 置にセットされているエフェクターのINPUT, OUTPUTと内部接続されています。また、CVは、フランジャー(FL-01)のMANUAL、パラメトリックイコライザー(PE-01)のFREQUENCY、アナログディレイ(AD-10)のDELAY TIMEを外部電圧(ミニベダルMP-01など)でコントロールするためのジャックです。  
詳しくは、セッティング例を参照してください。  
なお、バッチパネルに何も接続されていない場合は、1~11番までのすべてのエフェクターを順番どおりに通過した音が出されます。
- ⑥ **INST DIRECT OUT (インストゥルメント・ダイレクト・アウト)**  
このジャックには、システムボードのINPUTに接続された楽器の信号(原音)が出力されています。  
このジャックに何も接続されていない場合は1番にセットされたエフェクターに原音が入力されます。1番以外のエフェクターを最初に接続したい場合には、このジャックから最初に接続しようとするエフェクターのINへ接続してください。
- ⑦ **JUNCTION (ジャンクション)**  
1つの信号を複数に分けるためのジャックです。ある信号をJUNCTIONの1つのジャックに入力すると、そのとりにある実線で結ばれているジャックからはそのままの信号が出力されます。JUNCTIONを使用する場合、信号はCV(コントロール電圧)でも音声信号でもかまいません。ミニベダルMP-01のCVで複数のエフェクターを同時にコントロールしたり、原音やエフェクト音を複数のエフェクターに入力する場合などに使用してください。
- ⑧ **FINAL IN (ファイナル・イン)**  
バッチパネルに何も接続されていない場合は、11番にセットされたエフェクターの出力がリアパネルのOUTPUTから得られます。バッチパネルでエフェクターの接続を変更し、11番以外のエフェクターをシステムの最後に接続したい場合、そのエフェクターのOUTからFINAL INへ接続してください。FINAL INに入力された信号がそのまま最終的な出力になります。

### 3. リアパネル

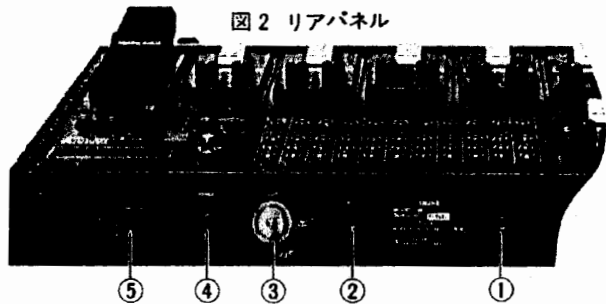
#### ① OUTPUT (アウトプット)

最終出力のジャックです。ここからアンプへ接続してください。

#### ② INPUT (インプット)

ギターなどの楽器音を入力するジャックです。ここに楽器の出力を接続してください。

図2 リアパネル



#### ③ LIGHT CONNECTOR (ライトコネクター)

暗いステージでシステムボードを使用する場合、確実に操作するためにパネルライト(付属品)を使用してください。LIGHT CONNECTORは、パネルライトを接続するためのコネクターです。

#### ④ POWER (パワー)

システムボードの電源スイッチです。

注意 リアパネルの OUTPUT 以外のジャックからアンプに直接接続する場合には、アンプ、スピーカーを保護するために、電源のON/OFFは、アンプのボリュームを最小にしてから行なってください。

#### ⑤ AC CONNECTOR (ACコネクター)

付属のACコードを接続するジャックです。演奏中、抜けることがないように、しっかりと挿し込んでください。また、取り外す時は、コードを引っばらずに、プラグをしっかりと持って引き抜いてください。

## How to Set

### PSEファミリーの取り付け方法

①ネジBをゆるめてシステムボードから付属のプレート類をはずしてください。

②エフェクター上面にある4本のネジ(ネジA)をゆるめてリアカバーをはずし、電池を取り出してください。

③コネクターカバーをはずし、図4のようにシステムセッティングプレートを本体にセットしてください。

④システムボードのコネクターコードをコネクタージャンパー(各コネクターが最初に接続されている所)からはずして、エフェクターのコネクターと接続してください。(コネクターコードは、数字のある面が下になる向きで差し込んでください。この時、確実に差し込んであることを確認してください。)

※運搬中、コネクターがゆるんで外れるような事故を防ぐためにリアカバーを取り付けてしまうとコネクターの抜き挿しができないようになっています。必ず、リアカバーを取り付ける前に、コネクターをしっかりと接続してください。

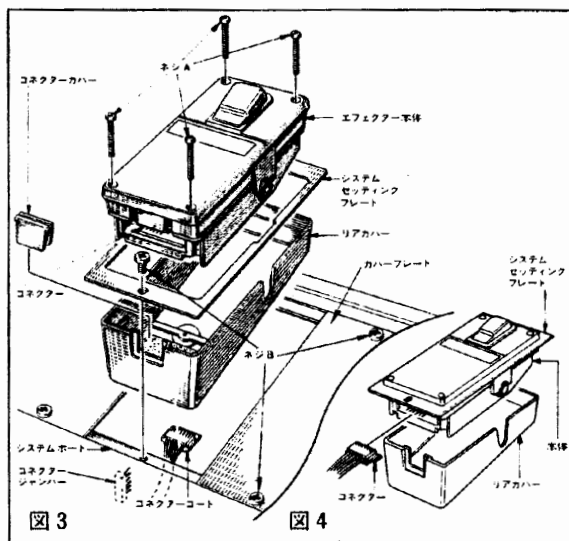
⑤リアカバーに本体を入れてネジAをしめ、プレートを固定してください。

⑥エフェクターをシステムボードにセットし、ネジBをしめて取り付けてください。

⑦なお、AD-10などのダブルサイズのユニットはダブルマウントプレートを使用します。この場合、一本のコネクターコードが余ることになりますが、このコードは必ずコネクタージャンパーに接続したままにしておいてください。この状態では、そのコネクター番号をパッチングをせずにパスさせることができます。ま

た、この場合ユニットのACコードは不要ですので、取り外してからシステムボードに取り付けてください。

⑧また、セッティングスペースが空いている場合には、そのスペースのコネクターを必ずコネクタージャンパーに差し込んで、空白スペースに付属のカバープレートを取り付けてください。カバープレートを取り付けないまま使用しつづけますと、ホコリや金属質のゴミなどがボード内に入り、故障の原因となりますので注意してください。



# Setting Example

## セッティング例

SB-200の1~11番に、PSEファミリーのどのエフェクターをセットするかは自由ですが、エフェクターシステムを構成する場合、一般的な接続順序として、コンプレッサー、オクターバーはシステムの入力に近い位置にセットし、コーラス、アナログディレイは最終出力に近い位置にセットすると効果的です。またノイズゲートは、できるだけシステムの見終出力に近い位置にセットした方が効果的ですが、アナログディレイを使用する場合は、

この手前にノイズゲートをセットしてください。

図6はエフェクターシステムの例を示したものです。

なお、付属のモデルシールとナンバーシールはシステムの構成をわかりやすくするためのシールです。どのエフェクターが何番のコネクターと接続されているかを確認して、モデルシールをパッチパネルのCVジャックの下の部分に、ナンバーシールをセッティングプレートの右上の部分に張り付けてください。

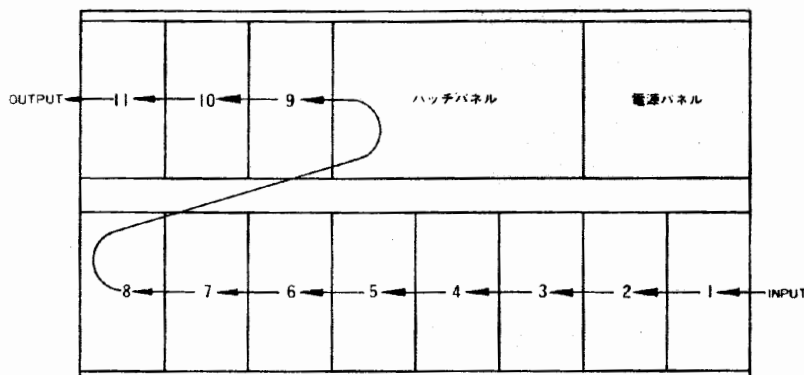
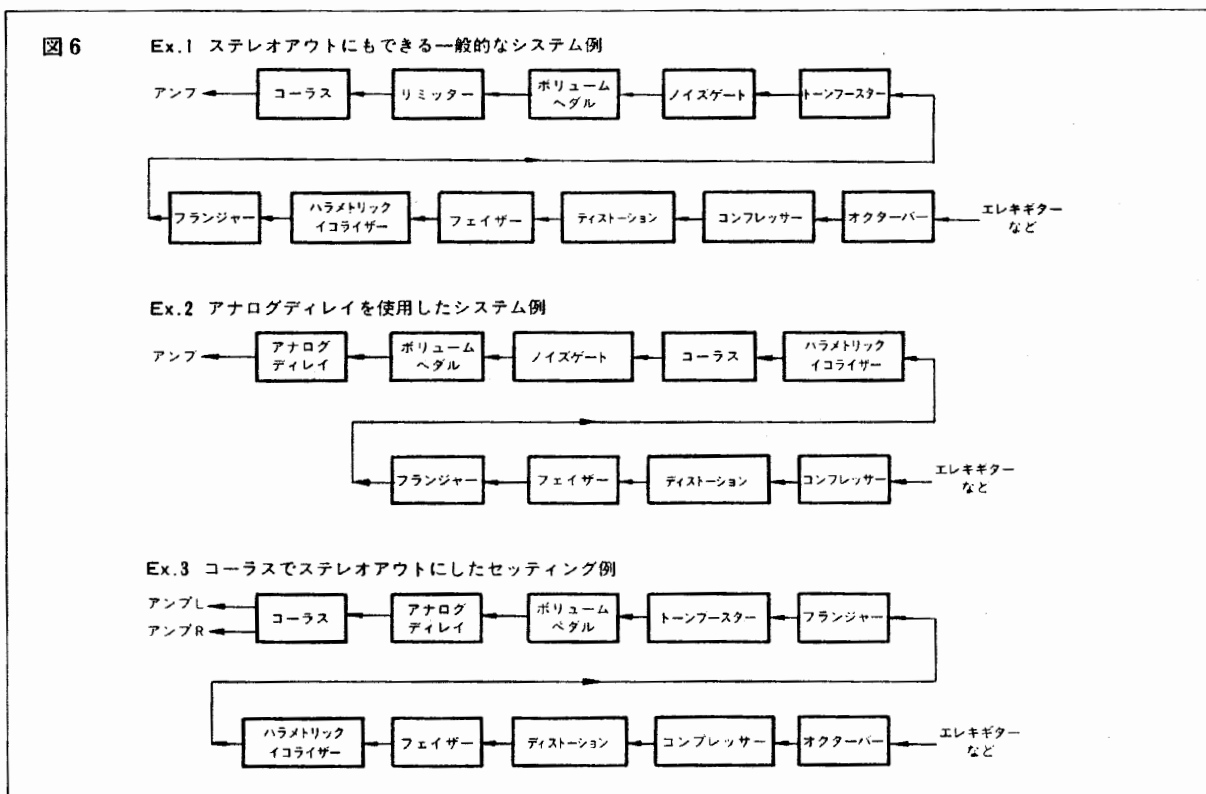


図5 基本的な信号の流れ



# Extension Cable

## エクステンションケーブルの使い方

エクステンションケーブル(付属品)は、エフェクターシステムの接続順序を変えずに最も操作しやすい位置に各エフェクターをセットする場合に使用するコネクター

Ex.1 システムの8番目のエフェクターをシステムボードの1番にセットして操作する場合

No.11	No.10	No.9					
11	10	9					
No.8	No.7	No.6	No.5	No.4	No.3	No.2	No.1
①	7	6	5	4	3	2	⑧

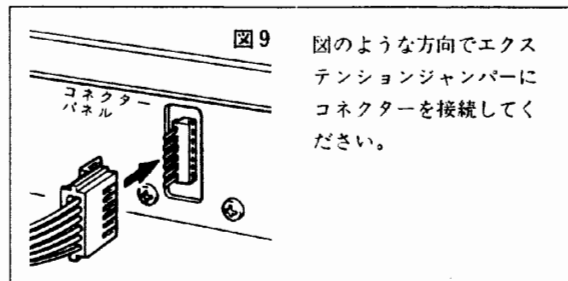
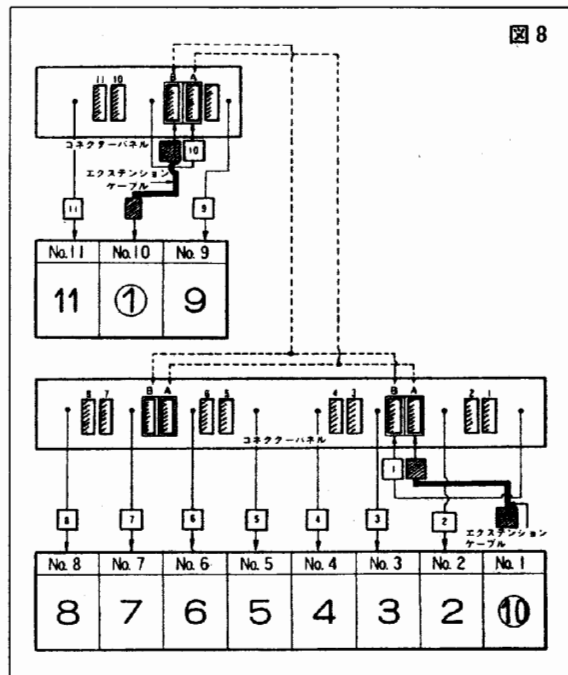
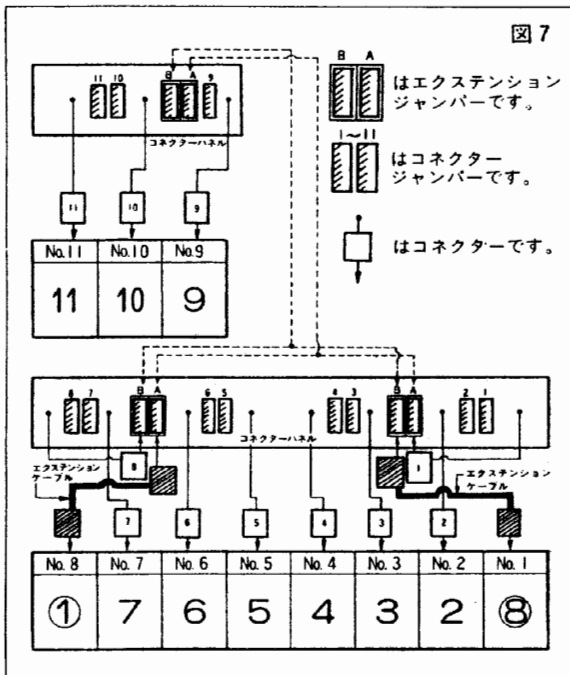
延長コードです。次の使用例を参考に接続してください。(図の点線はエクステンションジャンパーによって内部接続されていることを示しています)

Ex.2 システムの10番目のエフェクターをシステムボードの1番にセットして操作する場合(通常は、ミニベダルMP-01をこの方法で1番にセットして使用します)

No.11	No.10	No.9					
11	①	9					
No.8	No.7	No.6	No.5	No.4	No.3	No.2	No.1
8	7	6	5	4	3	2	⑩

ホジションナンバー

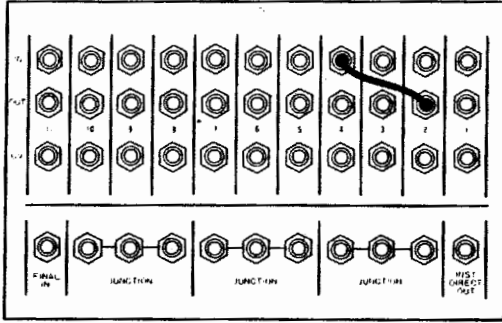
接続順序



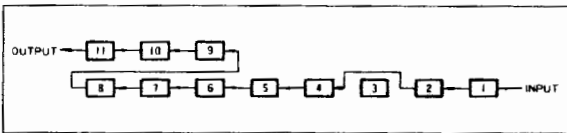
# Patching Example

## パッチング例

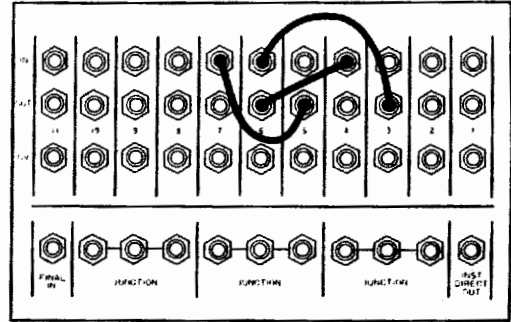
① システムボードにセットされているエフェクターを使用しないで、そのエフェクターをパスするためのセッティングです。



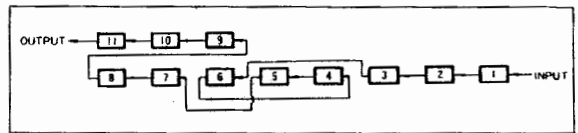
(3番のエフェクターをパスするセッティングです。)



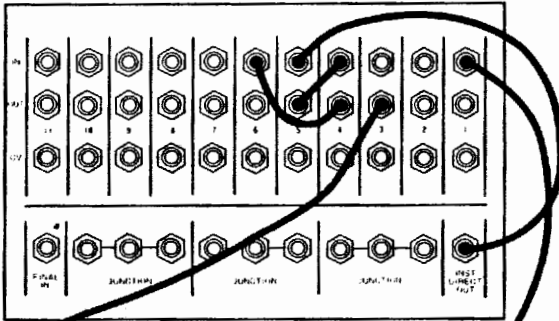
② システムボードにセットされたエフェクターの順番を変更するためのセッティングです。



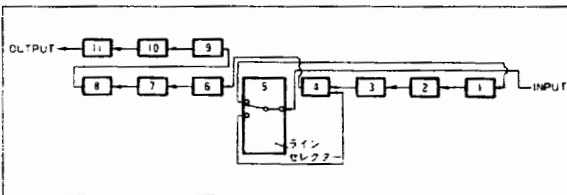
(4番と6番の順番を変えるセッティングです。)



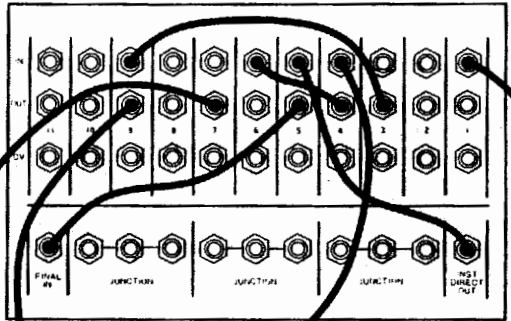
⑤ ラインセレクターLS-01を使って1～3番のエフェクターを同時にON/OFFするセッティングです。



この図は5番にLS-01をセットした場合です。

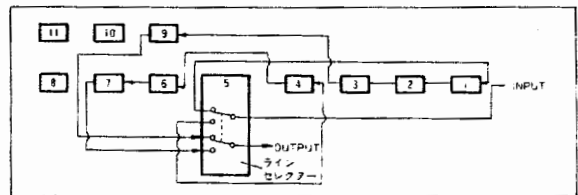


⑥ 2系統のシステムを構成し、ラインセレクターLS-01で切り換えるセッティングです。



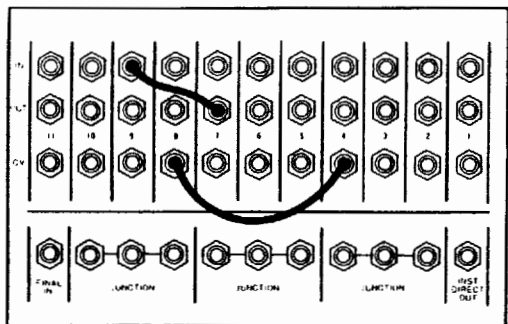
CH-1 : IN-1-2-3-9-OUT  
CH-2 : IN-4-6-7-OUT

この図は5番にLS-01をセットした場合です。

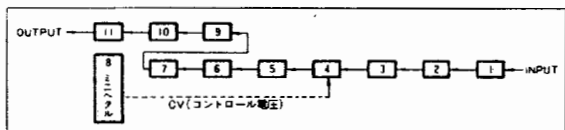




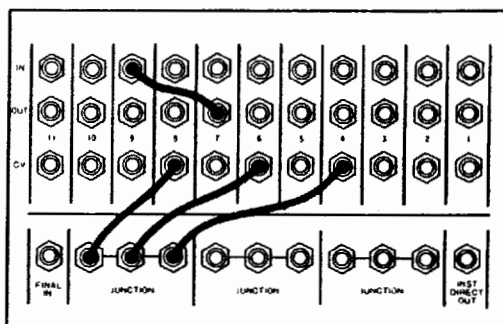
③ミニペダル MP-01 でエフェクターのパラメーターをCVコントロールするセッティングです。



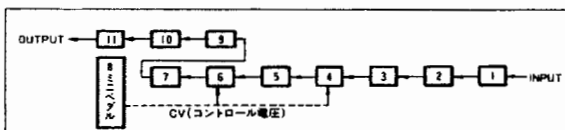
この図は8番にMP-01をセットし、4番にFL-01、PE-01、AD-10のいずれかをセットした場合です。なお、7番のOUTから9番のINにパッチングをしないと、MP-01はボリュームペダルとしても働きます。



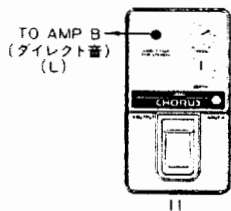
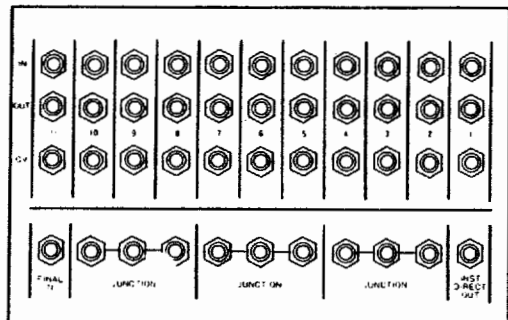
④JUNCTIONを使い、MP-01で2つのエフェクターのパラメーターをCVコントロールするセッティングです。



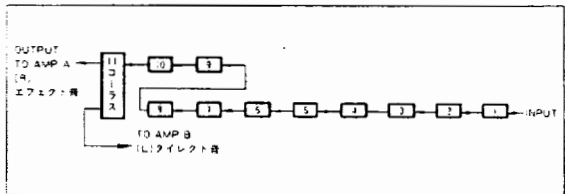
この図は8番にMP-01をセットし、6番と4番にFL-01、PE-01、AD-10のいずれかをセットした場合です。



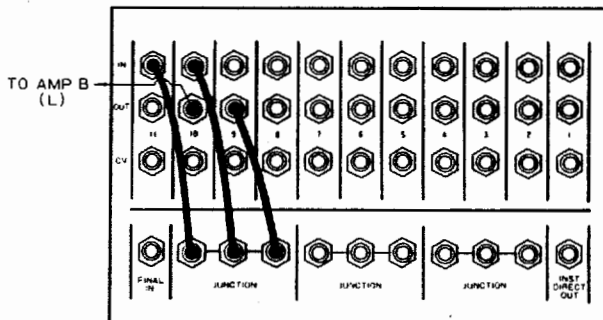
⑦コーラスCH-01をステレオコーラスとして使用し、システムをステレオ化するセッティングです。



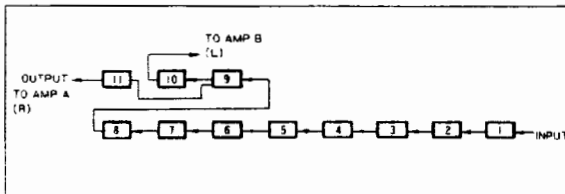
この図は11番にCH-01をセットした場合のセッティングです。



⑧システムの最後に配列するエフェクターを2系統にしてシステムをステレオ化するセッティングです。



最後に配列するエフェクターはフェイザー、パラメトリックイコライザー、フランジャー、アナログディレイなどが効果的です。



# Caution

## ご注意

1. システムボードと楽器やアンプの接続には、なるべく良質のローノイズギターコードをお使いください。
2. エフェクターシステムを最良の音質で使用するために、楽器の出力は必ずリアパネルのINPUTに接続してください。
3. スイッチやツマミ類に無理な力を加えることは避けてください。
4. コードのショートや断線を防ぐため、コードの扱いには充分注意してください。
5. 電池の液もれによる故障を防ぐために、各エフェクターの乾電池を、必ず取り出してからシステムボードに取り付けてください。なお、AC電源使用のダブルサイズのエフェクターのACコードも取り外してからシステムボードに取り付けてください。
6. 当製品の入出力端子はEIAJ規格RC-707に適合しています。規格外のプラグを使用した場合には、正常に動作しないことがありますので注意してください。
7. リアパネルのOUTPUT以外のジャックからアンプに直接接続する場合には、アンプ、スピーカーを保護するために、電源のON/OFFは、アンプのボリュームを最小にしてから行なってください。
8. この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

# Specifications

## 仕様

入カインピーダンス	●INPUT 1M $\Omega$ ●PHONES IN 1M $\Omega$
出カインピーダンス	●OUTPUT 終段のユニットに依存 ●PHONES OUT 22 $\Omega$
最大入力レベル	●INPUT 初段のユニットに依存 ●PHONES IN +10dB、@ 0dB=775mV
最大出力レベル	●OUTPUT 終段のユニットに依存
ヘッドホン出力(L+R)	●80mWrms+80mWrms、@ 8 $\Omega$
ファンクション(電源パネル)	●OUT LEVEL 9SEG INDICATOR ●ALLPASS SW ●PHONES VOLUME ●PHONES OUT ●PHONES IN ●SIGNAL CORD CHECK(JACK $\times$ 2、IND $\times$ 1)
(バッチパネル)	●IN(1-11) ●OUT(1-11) ●CV(1-11) ●INST DIRECT OUT ●FINAL IN ●JUNCTION(3 $\times$ 3)
(リアパネル)	●POWER SW ●POWER INDICATOR ●INPUT ●OUTPUT ●LIGHT CONNECTOR
パネルライト定格	●12V、6W
定格電源電圧・周波数	●AC100V、50/60Hz
定格消費電力	●18W
寸法・重量	●692W $\times$ 176H $\times$ 455Dmm・13.5kg(付属品を含む)
付属品	●ACコード ●バッチコード L $\times$ 2 M $\times$ 4 S $\times$ 2 ●パネルライト ●セッティングプレート S $\times$ 11 W $\times$ 2 ●カバープレート $\times$ 5 ●エクステンションコード L $\times$ 2 S $\times$ 2 ●ビス $\times$ 24 ●バッチシール

# After Service

## アフターサービス

### 1. アフターサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店にご持参頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。また、お買上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あるいは日本楽器支店にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

### 2. 保証期間

ヤマハPSEファミリー製品の保証は、ご購入日（保証書による）より満6ヶ月（現金・クレジット・月賦等による区別はございません。また保証書は国内のみ有効）と致します。

### 3. 保証期間後のサービス

満6ヶ月の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引続き責任をもってサービスをさせていただきます。そのほかご不明の点などございましたらヤマハサービス網までお問い合わせください。

### 4. サービス網

- |        |         |                |                          |
|--------|---------|----------------|--------------------------|
| ●東京支店  | 電音サービス係 | ☎(03) 572-3111 | 東京都中央区銀座7-9-18パールビル内     |
| ●横浜支店  | 電音サービス係 | ☎(045)212-3111 | 横浜市中区本町6-61-1            |
| ●千葉支店  | 電音サービス係 | ☎(0472)47-6611 | 千葉市千葉港2-1 千葉中央コミュニティセンター |
| ●関東支店  | 電音サービス係 | ☎(0273)27-3366 | 群馬県高崎市歌川町8番地 高崎センター内     |
| ●大阪支店  | 電音サービス係 | ☎(06) 877-5151 | 大阪府吹田市新芦屋下1-16           |
| ●神戸支店  | 電音サービス係 | ☎(078)232-1111 | 神戸市葺合区浜辺通6丁目1-36         |
| ●四国支店  | 電音サービス係 | ☎(0878)33-2233 | 高松市西宝町2丁目6-44            |
| ●名古屋支店 | 電音サービス係 | ☎(052)201-5141 | 名古屋市中区錦1-18-28           |
| ●北陸支店  | 電音サービス係 | ☎(0762)43-6111 | 石川県金沢市泉本町7-7             |
| ●九州支店  | 電音サービス係 | ☎(092)472-2151 | 福岡市博多区博多駅前2-11-4         |
| ●北海道支店 | 電音サービス係 | ☎(011)512-6111 | 札幌市中央区南10条西1丁目           |
| ●仙台支店  | 電音サービス係 | ☎(0222)95-6111 | 仙台市原町南目薬師堂北2-1           |
| ●広島支店  | 電音サービス係 | ☎(08287)4-3787 | 広島市祇園町西原2207-1           |
| ●浜松支店  | 電音サービス係 | ☎(0534)74-0311 | 浜松市幸町3-5-8               |



**YAMAHA**

日本楽器製造株式会社

本社：工場 〒430 浜松市中区浜町10-1

TEL 0534(65)1111